

第 52 期

中間事業報告書

平成 14 年 4 月 1 日から平成 14 年 9 月 30 日まで

TOCALO

トーカロ株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成14年9月30日をもちまして第52期上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の中間決算が終了いたしましたので、ここにその事業の概況についてご報告申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長

中 平 晃



● 営業の概況

当上半期のわが国経済は、期初においては比較的好調な米国とアジアの外需に支えられ緩やかな回復の兆しが見られましたが、その後米国経済の減速と国内における株安や不良債権問題により景気の腰折れ懸念が生じ、再び厳しい局面を迎えることとなりました。

当溶射業界におきましても、需要業界の生産水準は一時的には輸出の増加により持ち直したものの再び鈍化の兆しが現れ、設備投資も依然低迷している中で、溶射の需要は全体として低水準の状態が続いております。

このような経済環境下にあって当社におきましては、前年同期との比較では、鉄鋼、ガラス・窯業、紙・パルプ向け等の受注が減少したものの、重点分野として注力していた半導体・液晶向けが、海外向けの製造装置需要の回復によって好調に推移し、産業機械、石油化学向け等も営業努力が実を結び受注増を確保することができました。

この結果、当中間期の売上高は過去最高の60億2百万円と

なりました。また、経常利益は9億97百万円、当期利益は、5億78百万円といずれも過去最高の利益を計上することができました。

以上のような業績であります。当期の中間配当につきましては今後の動向を見極める必要があることから、見送らせていただくこといたしました。

下半期の経済見通しにつきましては、政府のデフレ対策による景気回復にはかなりの時間を要するものと思われ、また米国景気の先行き懸念もあり、当面は底這い状態で推移するものと予想されます。

当溶射業界におきましても、民間設備投資に下げ止まりの兆しが見られるものの、製造業全般の活動水準が低調に推移するなかで、需要は依然として増加が望めない状況が続くものと思われ。

このような厳しい環境の中で当社といたしましては、溶射機能皮膜の優位性、有用性をお客様により一層理解していただくよう、当社営業の基本であります「提案型・問題解決型営業」に徹し、半導体・液晶分野が堅調である現在、他の分野の需要掘り起こしに注力してまいります。

また、昨年以来の一連のMBO遂行によって膨らんだ借入金の早期返済のため、キャッシュフローに重点を置いた経営を継続し、財務体質の強化を図ってまいり所存であります。

以上のような経営努力により、当期は売上高110億円以上、経常利益は15億円以上の年度として過去最高の利益確保を目指してまいります。

なお、本年9月30日を払込期日とし、当社役員および従業員持株会を引受人とする108,000株の第三者割当増資を実施し、本年10月1日をもちまして増資を完了いたしましたことをご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

●貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
(資産の部)	(10,862,031)	(負債の部)	(8,147,200)
流動資産	5,715,778	流動負債	4,300,072
現金及び預金	542,479	支払手形	1,368,737
受取手形	1,284,312	買掛金	298,314
売掛金	3,148,402	短期借入金	800,000
原材料	230,031	1年以内返済予定	257,080
仕掛品	185,682	長期借入金	
貯蔵品	88,652	未払金	146,935
前払費用	29,811	未払法人税等	477,296
繰延税金資産	182,078	未払消費税等	79,027
その他の流動資産	31,827	未払費用	303,715
貸倒引当金	△ 7,500	預り金	56,033
		賞与引当金	390,000
固定資産	5,146,252	設備支払手形	122,932
有形固定資産	4,263,281		
建物	1,525,411	固定負債	3,847,128
構築物	40,290	長期借入金	2,550,110
機械及び装置	1,205,406	長期未払金	300,924
車両運搬具	2,154	退職給付引当金	743,553
工具器具備品	53,109	役員退職引当金	252,540
土地	1,435,108		
建設仮勘定	1,800	(資本の部)	(2,714,830)
無形固定資産	322,520	資本金	1,386,868
借地権	309,817	新株式払込金	99,360
ソフトウェア	10,634	資本剰余金	670,649
その他の無形固定資産	2,067	資本準備金	670,649
投資等	560,450	利益剰余金	584,957
投資有価証券	42,245	固定資産圧縮積立金	1,858
長期前払費用	13,281	特別償却準備金	4,155
会員権	34,907	当期末処分利益	578,943
保証金	57,664	(内当期利益)	(578,943)
繰延税金資産	394,533	評価差額金	△ 7,005
その他の投資	17,818	自己株式	△ 19,998
資産合計	10,862,031	負債及び資本合計	10,862,031

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

科	目	金	額
		千円	千円
経 常 損 益 の 部	営 業 損 益 の 部		
	営 業 収 益		
	加 工 料 収 入	6,002,211	6,002,211
	営 業 費 用		
	加 工 料 原 価	3,919,658	
	販売費及び一般管理費	1,065,160	4,984,819
	営 業 利 益		1,017,392
	営 業 外 損 益 の 部		
	営 業 外 収 益		
	受 取 利 息	258	
	雑 収 入	21,984	22,242
	営 業 外 費 用		
	支 払 利 息	39,825	
	雑 損 失	2,399	42,225
	経 常 利 益		997,410
特 別 損 益 の 部	特 別 利 益		
	貸倒引当金戻入益	6,000	6,000
	特 別 損 失		
	固定資産除却損	8,948	
	ゴルフ会員権評価損	3,900	12,848
税 引 前 当 期 利 益			990,562
法人税、住民税及び事業税			470,000
法 人 税 等 調 整 額			58,381
当 期 利 益			578,943
前 期 繰 越 利 益			0
当 期 末 処 分 利 益			578,943

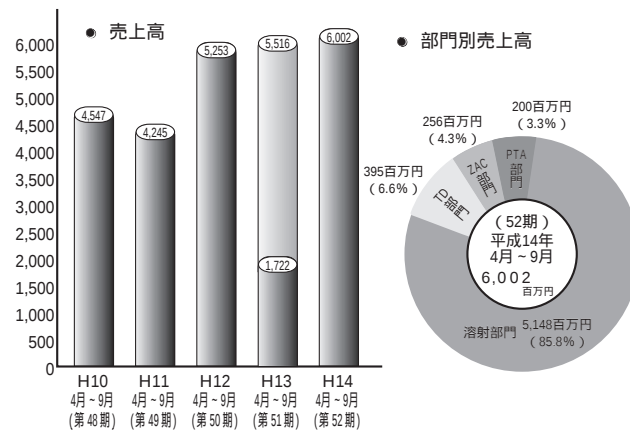
(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 会社の概況

(平成14年9月30日現在)

1. 主要な事業内容

当社は、金属やセラミックスを高温で溶かして機械部材などに吹付け、表面に高機能皮膜を形成する「溶射加工」を主力に、T D処理加工、Z A Cコーティング加工、P T A処理加工など多彩な表面改質技術を使用し、受注による金属表面処理加工およびその販売業務を行っています。



- (注) 1. 平成12年中間期以前は旧トーカ口側の売上高であります。
2. 平成13年中間期の売上高は旧トーカ口側の4月～7月分と当社の8、9月の2ヶ月分(1,722百万円)を加えたものであります。

2. 株式の状況

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 会社が発行する株式の総数 | 10,240,000株 |
| 2. 発行済株式の総数 | 3,117,000株 |
| 3. 株主数 | 102名 |
| 4. 大株主 | |

株主名	持株数	持株比率
ジャフコ・バイアウト一号投資事業有限責任組合	1,561,000株	50.08%
トーカ口従業員持株会	433,300株	13.90%
中平晃	191,600株	6.14%
ピージーエムダッチアジアプライベートエクイティファンド	180,000株	5.77%
廣瀬眞理子	108,600株	3.48%
中平怜	54,300株	1.74%
高馬昭良	35,800株	1.14%
岡隆	32,600株	1.04%
末永民恵	32,600株	1.04%
西條久美子	32,600株	1.04%
西條憲一	32,600株	1.04%
西條朋哉	32,600株	1.04%

3. 所有者別株式分布状況

個人・その他	3,090,300株 (99.14%)
法人等	5,000株 (0.16%)
自社株	21,700株 (0.70%)

4. 従業員の状況

従業員数は、総数379名です。なお、従業員数には、臨時従業員（嘱託・パートタイマー）117名は含まれておりません。

5. 主要な事業所

本店：神戸市東灘区深江北町四丁目13番4号

工場：神戸工場、*東京工場、名古屋工場、*明石工場、
明石第二工場、明石第三工場、水島工場、
*北九州工場、北九州第二工場

営業所：鹿島営業所、北関東営業所、山梨営業所
神奈川営業所、静岡営業所、和歌山営業所

* ISO9002認証取得工場。

* 平成14年3月22日 本店・溶射技術開発研究所にて
ISO14001の認証を取得しました。

6. 取締役および監査役

代表取締役社長	中 平	晃
専務取締役	中 平	怜
常務取締役	太 田	義 人
取締役	高 馬	昭 良
取締役	川 口	啓 次 郎
取締役	安 川	勝
取締役	磐 長 谷	勲
取締役	竹 澤	進
取締役	岡	隆
取締役(非常勤)	原 田	健 一
常任監査役	中 井	康 亘
監査役(非常勤)	立 辻	治
監査役(非常勤)	山 田	智 士

(注) 監査役中井康亘、立辻 治および山田智士は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決 算 期 3月31日
定 時 株 主 総 会 期 6月
開 催 時 期
基 準 日 定時株主総会関係 3月31日
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします)

1 単元の株式数 100株

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部
〒541-8502 電話(06)6222-3111(代表)

同 取 次 所 UFJ信託銀行株式会社本店および全国各支店

公告掲載新聞 官報

TOCALO

<http://www.tocalo.co.jp>